

Mpol a mpola なムベンデ便り

NO, 3

青年海外協力隊 平成 26 年度第 4 次隊 氏名:佐藤結香 職種:医療機器 派遣国:ウガンダ

今回の「Mpol a mpola なムベンデ便り NO, 3」では、写真を中心に私の年末を紹介する。

①ウガンダでのクリスマス

ウガンダ人にとってクリスマスは、家族と過ごす大事な日。病院スタッフもクリスマスの 1 週間前から村に戻っていく様子が見られた。といっても、病院は通常通り。スタッフは少ないが患者さんは多い。残ったスタッフが協力しながら働いている姿に感心した。

私にとってウガンダで初めてのクリスマス。実は体調を崩しクリスマスどころではなかった(苦笑)。

体調が良くなった頃、私のお家の大家さんが「リフレッシュしに行くぞー!」と言って、村に連れて行ってくれた。私の大家さんはムスリムなのでクリスマスは祝わないが、何せ子供が 24 人いる。しかも今は学校のターム休み、子供たちの有り余るパワーを発散させるため村でパーティーを開いた。



出発前の車内の様子⇒



このような道をひたすら進んでいく



家から車で約40分、大自然あふれる大家さんの村の家に着いた。村と言っても周囲に家は無い。
鶏たちがお出迎え？！



←ジャックフルーツを運ぶ大家さんの知り合い
とても甘くて美味しいが、皮をむくとネバネバしてくるので自分で用意する気になかなかならない（苦笑）

いつも私のことを気にかけてくれる
優しい大家さん→



火がとても強く近づけないので私がこんな姿勢で料理していたら、「こうやるのよ！！」と料理の先生が登場（笑）





先ほどの火より弱い七輪で山羊の串焼き
今度は煙が……
焦げそうになり助っ人が登場（笑）
まだまだ修行が足りないようだ……。 （苦笑）



沢山の子供たちと遊び、沢山食べ、沢山学ぶ。
大自然の中で家族と過ごすことができる彼らがとても羨ましいとも思った。日本にいたらなかなか経験できないことばかり。子供たちからパワーをもらいリフレッシュもできた。一年の終わりにとても良い時間を過ごすことができた。新年からの活動も頑張っていきたいと思う。